

大学共同利用機関法人自然科学研究機構
経営協議会（第25回）議事要旨

1. 日 時 平成23年3月14日（月）13：30～15：30
2. 場 所 自然科学研究機構事務局会議室
3. 出席者 佐藤議長、高柳委員、立花委員、藤原委員、牟田委員、木下委員、観山委員、岡田（清）委員、岡田（泰）委員、大峯委員
（陪席者）
野村監事、金子副所長（核融合科学研究所）
（事務担当者）
増田事務局次長、鈴木総務課長、平尾企画連携課長、長谷川財務課長、国立天文台穴沢事務部長、核融合科学研究所伊藤管理部長、岡崎統合事務センター前田事務センター長及び吉田財務部長 他
（研究成果発表者）
田中 実 准教授（基礎生物学研究所）
4. 配付資料
 - 1 経営協議会（第24回）議事要旨（案）
 - 2 中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について
 - 3-1 大学共同利用機関法人自然科学研究機構年度計画（平成23年度）（案）
 - 3-2 平成23年度自然科学研究機構予算編成方針の平成23年度年度計画予算への反映状況
 - 3-3 各機関ごとの予算状況
 - 4 職員給与等の改正について（案）
 - 5 平成23年度の年間資金運用について（案）
 - 6 核融合科学研究所における研究部門の設置について
 - 7 基礎生物学研究所における研究組織の再編について（概略）（案）
 - 8 宇宙と生命 宇宙に仲間はあるのかⅡ
 - 9 平成23年度 経営協議会の開催日程
 - 10 生殖と性をつかさどる生殖細胞
5. 議事等
議事に先立ち、定足数並びに配付資料の確認があった。
 - 1) 前回議事要旨（案）について

前回経営協議会（第24回）議事要旨（案）（資料1）が了承された。

- 2) 第1期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について
観山委員から、資料2に基づき、文部科学省が設置する国立大学法人評価委員会における評価結果である第1期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について、報告があった。
- 3) 平成23年度年度計画（案）について
観山委員から、資料3-1に基づき、平成23年度計画（案）について説明し、引き続き、資料3-2及び資料3-3に基づき、木下委員から財務内容に関する説明があり、審議の結果、案のとおり了承された。
- 4) 職員給与等の改正について
木下委員から、資料4に基づき、職員給与等の改正について説明があり、審議の結果、案のとおり了承された。
（主な意見等は以下のとおり）
 - 契約職員に関する退職手当の取り扱いは、どのようにするのか。
 - 特定契約職員の退職手当については、国における期間業務職員制度導入の趣旨を踏まえて改正する。
- 5) 平成23年度資金運用計画について
木下委員から、資料5に基づき、平成23年度資金運用計画について説明があり、審議の結果、案のとおり了承された。
（主な意見等は以下のとおり）
 - 資金運用の具体的な内容は、どのようなものか。
 - 余裕資金の範囲内において、金融機関から運用方法を提案させ、受取利息の最も多い提案を採用する。
- 6) 核融合科学研究所における研究部門の設置について
金子副所長から、資料6に基づき、核融合科学研究所における研究部門の設置について説明があり、審議の結果了承された。
（主な意見等は以下のとおり）
 - 研究部門を新たに設置することに伴い、既設部門の廃止や人員増はあるか。
 - 研究所として必要とする新設部門に、重点的に人員配置をしたいと考えており、既設部門の廃止や研究所全体の人員の増はない。
- 7) 基礎生物学研究所における研究組織の再編について

岡田（清）委員から、資料7に基づき、基礎生物学研究所の再編について説明があり、審議の結果了承された。

（主な意見等は以下のとおり）

- 再編の前と後で研究部門の名がまったく異なるが、研究の連続性や内容はどうかなるのか。
- 研究領域としての連続性は確保しているが、研究部門としては連続性はない。
- 研究部門には、継続性が必要な場合と、新しい研究を始めることが必要な場合がある。
- 研究部門は、小講座制か。
- 研究部門の構成は、教授1名、准教授又は助教の2名を組み合わせた3名体制である。当該研究部門の人員構成については、教授の自主性に任せている。

8) 自然科学研究機構シンポジウム（第11回）について

観山委員から、資料8に基づき、自然科学研究機構シンポジウム（第11回）について報告があった。

（主な意見等は以下のとおり）

- 震災の影響もあり、中止することもあり得るが、機構のミッションを果たすことが国民に対する責任であると考えている。
- しっかり実施することが、防災にもつながる。このような時こそ国民全体で科学を考える良い機会である。

9) 平成23年度会議日程について

議長から、資料9に基づき、平成23年度会議日程について報告があった。

10) 機構の最近の研究成果について

本機構の最近の研究成果について、基礎生物学研究所の田中 実 准教授から「生殖と性をつかさどる生殖細胞」と題して発表が行われ、意見交換があった。

以上